

# 株式会社ケーヒン 宮城第一製作所丸森工場

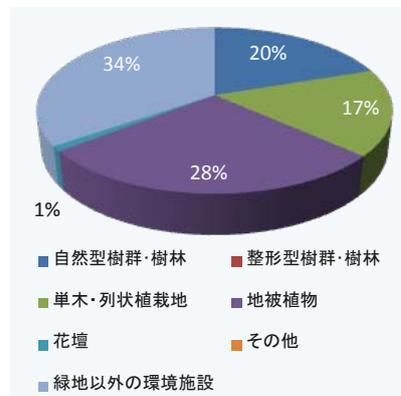
工場所在地 〒981-2112  
宮城県伊具郡丸森町字寺内前 97  
TEL : 0224-63-1111

主たる業種名 輸送用機械器具製造業

主要製品名 キャブレッタ、インジェクションほか二輪・四輪用各種システム

ウェブサイト <http://www.keihin-corp.co.jp/company/office.html>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 20,046m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

みんなの力で豊かな自然を次世代へ

## 緑化等の概要

- ・株式会社ケーヒン宮城第一製作所丸森工場は、1972年当時不可能といわれた米国マスキー法に世界で初めて適合したホンダのCVCCエンジンのキャブレターを開発するなど、早くから環境問題に取り組んでいる。
- ・本工場は、昭和57年の創業開始以来、当社環境宣言「私たちは企業の環境保全が、地球環境の良好な維持に深く関与していることを認識し、社会の責任ある一員として地球環境保全のためにすべての企業活動を通じて、環境負荷低減に積極的に取り組みます。」に基づき、他拠点同様、環境保全に取り組んできた。
- ・工場建物および緑地の配置については、法面を含め、周辺部に緑地を多く配置し、町のキャッチフレーズ「水と緑の輝くまち丸森」にふさわしい、森に囲まれた、美しい工場となるよう、美化を図っている。
- ・敷地内には、マツ・ヒバ・サクラ・ツツジ・タマヒバ・サザンカ・ヒノキ・シラカシ・ハナミズキなど、多様な植栽を施し、来訪者や周辺の皆さまに、季節の移ろいを楽しんでいただいている。
- ・社内の緑化は、ISO14001に基づき社員全員で清掃等環境保全に取り組んでいるほか、機械器具を用いる剪定や草刈作業は、地元丸森町の造園会社やシルバー人材センターに作業委託し、通年の環境維持に努めている。
- ・地域貢献としては、阿武隈川ほか周辺地域の清掃や、地元NPO法人との協働による丸森駅近くの里山保全活動、町内外学校への環境出前教育に加え、災害時の避難協定を町と結び、地元企業の責任として、積極的に活動している。

## 緑地のようす



地元高校生による植栽

## 力を入れている取り組み

- ・地域に根ざした自然保護活動として、従業員と家族参加による河川の清掃活動や周辺の環境保全活動を定期的に行い、動植物の健全な生育を促進し生態系の保全に努めている。



除草活動



テーブル・イス設置

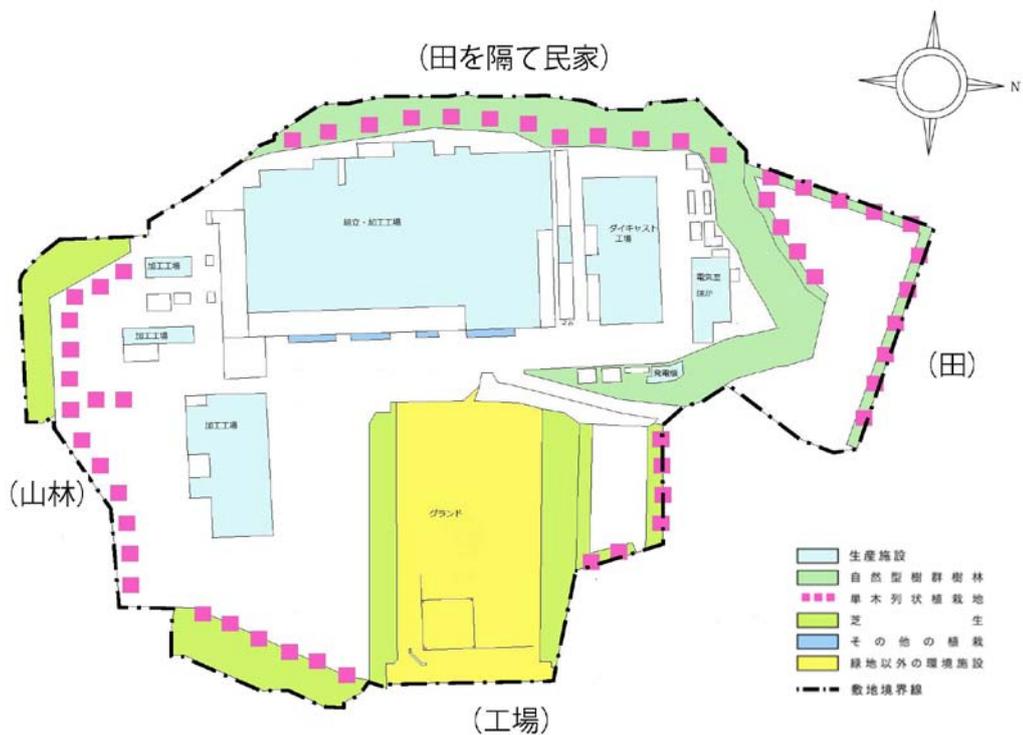


河川清掃活動



植栽と整備

## 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

当社は緑化を通じて自然環境との調和を図ることが重要であると考えています。

敷地内だけでなく地域の環境を健全な状態にし、小動物が棲みやすい環境維持に取り組むことで、豊かな自然を次世代へ受け継いでいけるものと信じています。

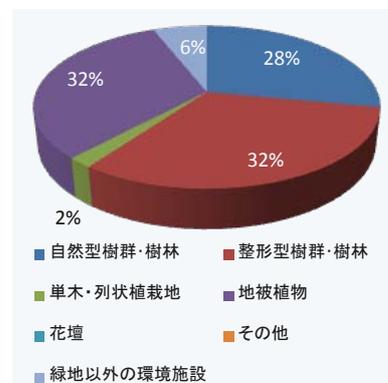
今後も適切な間伐や剪定、除草を行うとともに、外来種の駆除を積極的に行っていくことで、森の活力と生物多様性の維持に取り組むことが、地域に愛され従業員が誇りに思う企業作りにつながっていると考えています。

# 荒川化学工業株式会社 筑波研究所

工場所在地 〒300-2611  
茨城県つくば市大久保 5 番地  
TEL : 029-865-2800

主たる業種名 化学工業  
主要製品名 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、粘接着剤用樹脂等  
ウェブサイト <http://www.arakawachem.co.jp/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 5,295m<sup>2</sup>



事業所緑化のキャッチフレーズ

自然との共生、環境に配慮したものづくり

## 緑化等の概要

- ・本研究所は、つくばテクノパーク大穂という工業団地内に立地しているため、周辺立地環境を配慮し、総合的な緑化計画に基づいた事業所緑化を推進している。
- ・つくばテクノパーク大穂を、良好な環境をもつ工業団地にすることを目的とし、緑化等に関する事項を定めた緑地協定を締結している。なお、都市緑地法第 45 条第 1 項の規定に基づき、土地所有者等の全員の合意により協定を締結している。
- ・本研究所は生産施設を持たないため工場立地法の規定は適用されないが、研究所敷地内の緑化面積が 50% に達しており、植栽する樹木等の種類や量、樹木等を植栽する場所、柵や垣の構造、樹木等の管理方法など緑地協定で定められた事項に基づき緑化等を図っている。
- ・敷地内緑地の定期的な管理を行っているほか、定期的なゴミ拾い、落ち葉拾い、側溝清掃を実施している。
- ・工業団地内の調整池周辺、各企業敷地の外周の清掃を行うクリーン活動を年 2 回実施している。
- ・環境配慮型原料として松脂から得られるロジンを用いた研究開発を行っている。
- ・会社の出発点である松脂を象徴するため、敷地内に 11 種類の松を植樹している。
- ・松脂を原料にした事業及びマスコットキャラクター（マツタロウ&ロジーナ）を展開している。
- ・岡山県の「企業との協働の森づくり」事業の趣旨に賛同し、岡山県矢掛町と森づくり協定を締結した。創業 140 周年記念事業の一環として、町有林 3.3ha の保全に向け、アカマツの植栽などができる「マツタロウの森」を開園した。

## 緑地のようす



敷地周辺の緑地帯(玄関)



敷地周辺を囲う高木(裏側)



種類の異なる松を植樹①



種類の異なる松を植樹②

## 力を入れている取り組み



工業団地内の清掃活動に参加



敷地内の空地を利用した菜園

## 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

荒川化学グループでは、「環境保安基本方針」、「環境保安行動指針」、「環境保安管理規定」および「グリーン規定」をもとに各事業所で計画を立て、環境に優しく、生物多様性の確保に寄与する事業活動を進めています。

筑波研究所では、工業団地内に立地しているため、周辺立地環境を配慮し、総合的な緑化計画に基づいた工場緑化を推進しており、緑地協定を締結しています。工業団地内の清掃を行うクリーン活動の実施及び敷地内緑地の定期的な管理を行っています。

また、筑波研究所では、環境配慮型原料として松脂から得られるロジンを用いた研究開発を行っています。会社の出発点である松脂を象徴するため、敷地内に11種類の松を植樹しています。

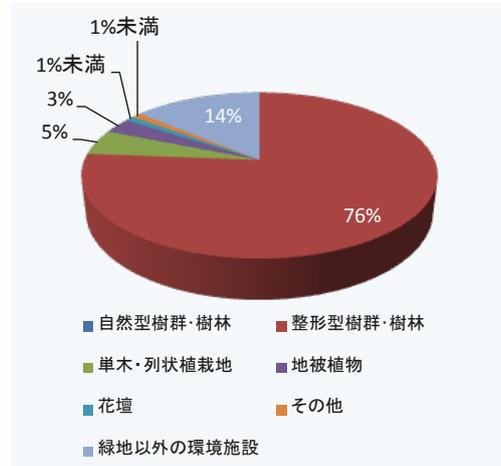
今後も、製品の開発から廃棄に至るまでの環境、安全、健康を確保し、地球環境と調和する事業活動を進めていきます。

# 株式会社小松製作所 小山工場

工場所在地 〒323-8558  
栃木県小山市大字横倉新田 400 番地  
TEL : 0285 -28-8155

主たる業種名 輸送用機械器具製造業  
主要製品名 エンジン・油圧部品  
ウェブサイト <http://www.komatsu.co.jp/>  
※小松製作所の HP「国内事業所」より

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 142,647m<sup>2</sup>



## 工場緑化のキャッチフレーズ

環境に優しい地域と繋がる拓かれた工場

## 緑化等の概要

- ・小松製作所 小山工場は、コマツの中でゼロ・エミッション活動に最初に取り組み、全員参加で 10 年以上にわたりこれを継続している。
- ・事業活動が生物多様性に依存し影響を与えているという認識に立ち、生物多様性の保全に直接的に関わり、また社員の意識を高める活動を推進している。
- ・地域固有の生態系に配慮したビオトープを 2014 年に造成し、専門家による生物調査を行いながら貴重な植物や生物の保護や観察を行う一方で、従業員の環境学習、憩いの場として、さらに他事業所や社外との分科会、交流会などの場として活用している。
- ・東日本大震災の津波で被害を受けた福島県の海岸林の NPO 団体が主催する再生ボランティア活動に協賛して、2014 年より構内の緑地に設けた畑でクロマツの苗木を育成し、これを植林する活動を行っている。
- ・大雨にも耐えられる工場とするため、敷地内の雨水を一時的に貯留できる池を設置し、排水能力を超えるような大雨が降ったときには、構内だけでなく、敷地外の浸水被害の抑制に寄与している。
- ・工場の環境保全や省エネに関わる活動や取組みが評価され、これまで経済産業大臣表彰や環境大臣表彰など複数の表彰を受賞している。
- ・毎年コマツフェスティバルとして 1 日工場を開放している。当日はグリーン電力を使用し、従業員とその家族、一般の方など一万人を超える来場者に、各種イベントや環境活動紹介、工場見学等にふれて、コマツ小山工場をよく知ってもらおうと取り組んでいる。

## 緑地のようす・力を入れている取り組み



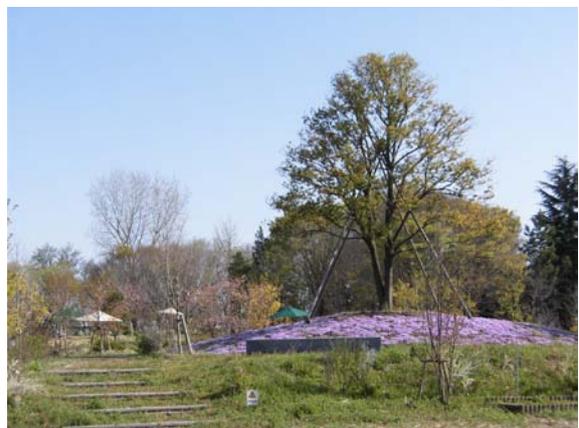
1万t池①



1万t池②



しだれ桜



まなびの森



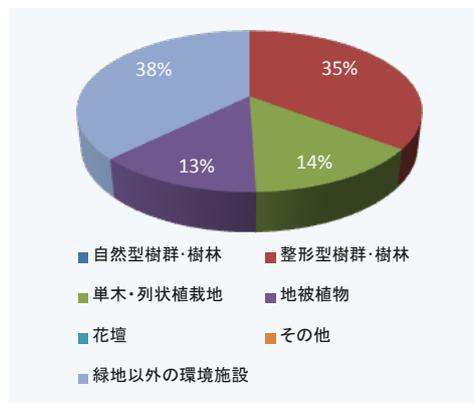
# 日本電信電話株式会社 情報ネットワーク総合研究所

工場所在地 〒180-8585  
東京都武蔵野市緑町 3-9-11  
TEL : 0422-59-2716

主たる業種名 情報ネットワーク社会基盤の研究開発  
ウェブサイト <http://www.ntt.co.jp/inlab/index2.html>

## 緑地等の種別面積割合

緑地等の総面積 62,439m<sup>2</sup>



## 工場緑化のキャッチフレーズ

地球にやさしい情報ネットワーク環境を実現します！

## 緑化等の概要

- ・情報ネットワーク総合研究所は、日本電信電話株式会社（以下、NTT）の研究開発拠点として、電気通信分野において、世界をリードする技術を生み出し、グリーンICTにより、地球に優しい情報ネットワーク環境を実現し多くの人々の暮らしの向上に貢献する研究成果の創出、提供を推進している。
- ・「NTTグループ環境宣言」のもと、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の形成」、「生物多様性の保全」を未来にわたって取り組むべきテーマとし、敷地内緑化を積極的に推進している。
- ・研究所の敷地は「旧中嶋飛行機武蔵製作所」の跡地であり、第2次世界大戦で熾烈な空襲を受けた場所であるが、今日では隣接する東京都立武蔵野中央公園とともに、市内でも貴重な自然の残る一角として、多くの野鳥や昆虫などが生息する楽園となっている。
- ・敷地内にネジバナの群生地や野生のスミレ、フキの群生地等が多様にあることから、それらの存在をパンフレット化して周知することにより意識高揚に繋げるとともに、全員参加型の保全活動としている。
- ・日射を遮る省エネ、環境意識向上施策のひとつとして、壁面緑化（グリーンカーテン）を始め、今年の夏には目標の3階（約13m）まで到達した。
- ・毎年4月に開催する武蔵野市の「武蔵野桜まつり」と連携し、構内の桜並木を一般開放している。
- ・もともとは敷地境界部にはコンクリート塀（高さ180cm、厚さ20cm、延長約1km）が設置されていたが、武蔵野市の要請を受け平成11年に解体し、生垣にした。生垣にはクリスマスローズが植えられ市民の皆様楽しんでいただいている。
- ・研究所には、NTT技術史料館が併設され、史料館の一般公開日には史料館周辺を地域の方へ開放している。
- ・平成24年2月には、武蔵野市と「災害時における協力に関する協定」を締結し、市の行う災害対応等に協力体制を築いている。

## 緑地のようす



北門から本館へ向かっての桜並木(春)  
毎年4月に一般開放している



研究所脇の沿道(夏)



南門から本館へ向かっての銀杏並木(秋)



秋のクリーン作戦  
全員参加型の清掃活動を行っている



グラウンド脇のどんぐり林



グラウンドからの風景



正門から本館へ向かっての敷地内風景



敷地内の野イチゴ  
山野草の保全に取り組んでいる

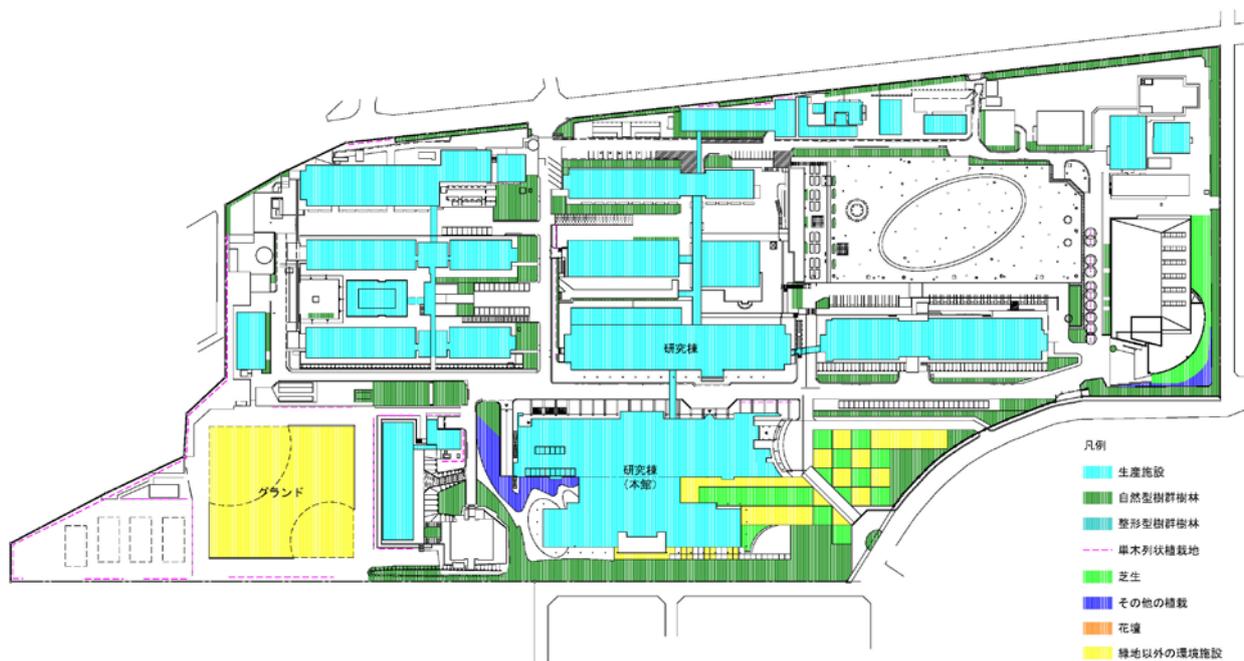


史料館上太陽光パネル



史料館のオープンガーデン  
史料館公開日に一般開放している

## 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

当研究所本館は、NTTグループのみならず世界の情報通信分野発展に貢献する共通的基盤作りを目指し、キーテクノロジーやビジネス・コンセプトの創造を推進する『21世紀の情報通信を支えるNTTのR&D拠点ビル』として緑豊かな地、武蔵野に建設されました。

太陽光発電、燃料電池、コジェネなど様々な省エネルギー施策を盛り込み、NTTの研究施設の顔として最新技術への取り組みをアピールすると共に、地球環境に配慮しています。

また、研究開発時において、エネルギーおよび資源などの有効利用、廃棄物リサイクルの推進、グリーン製品購入の推進、化学物質の適正管理に取り組むとともに市の協力のもと研究所周辺との調和を図るよう緑化環境の向上に努めています。

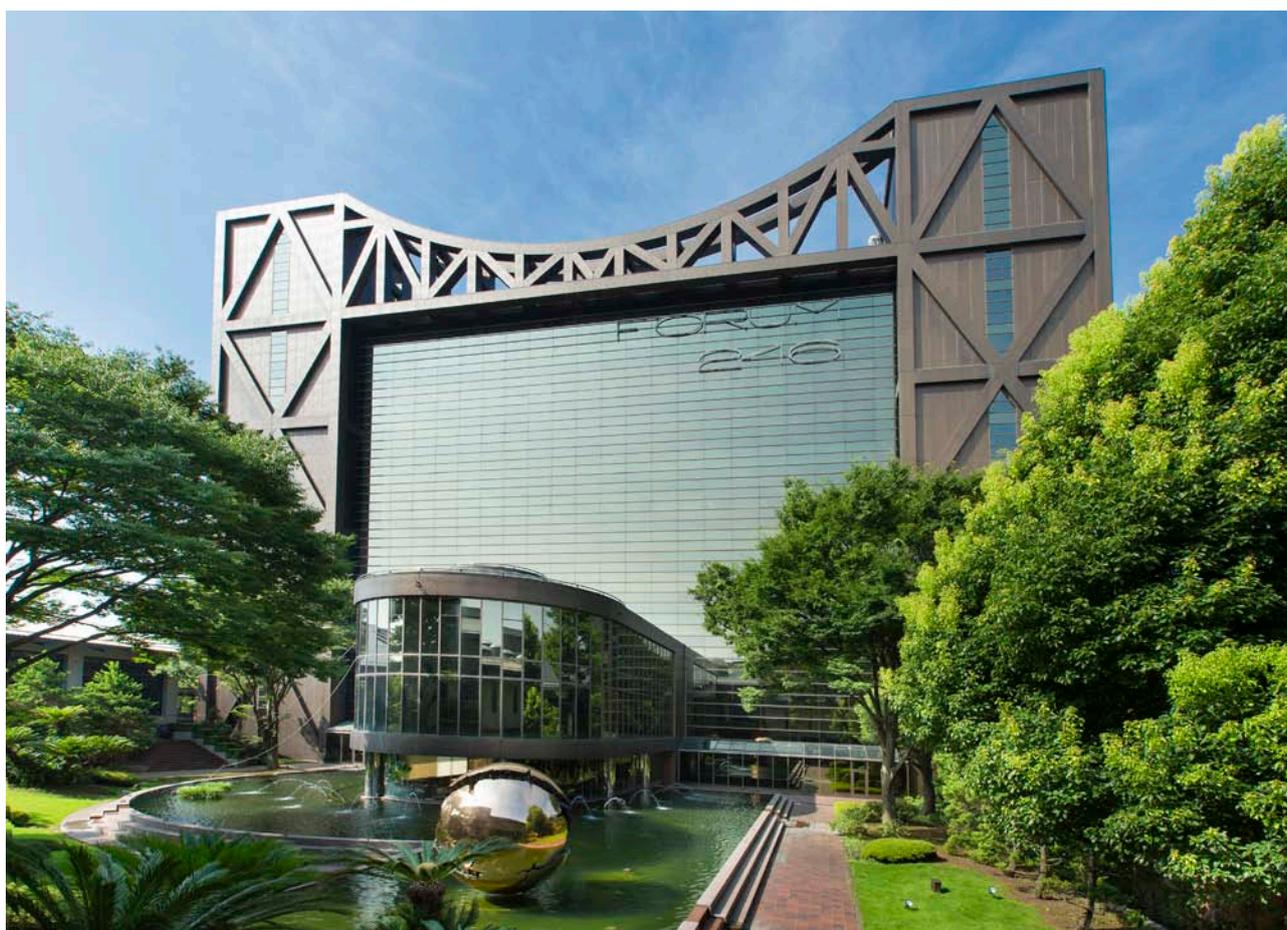
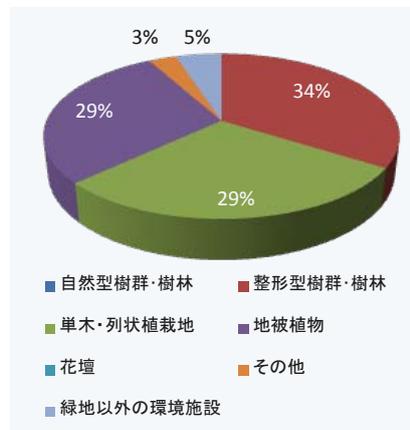
今後も、社会・地域の一員として研究開発の面から地球環境の保護に貢献するとともに地域のみなさまとのコミュニケーションを大切に、環境マネジメントシステムを効果的・効率的に運用して地域貢献活動も継続して取り組んでまいります。

# 株式会社アマダホールディングス 伊勢原事業所

工場所在地 〒259-1196  
神奈川県伊勢原市石田 200  
TEL : 0463-96-3443

主たる業種名 生産用機械器具製造業  
主要製品名 金属加工機械用金型  
ウェブサイト <http://www.amadaholdings.co.jp/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 41,737m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

水と緑と建物の調和

## 緑化等の概要

- ・アマダグループは「水と緑と建物の調和」をコンセプトに掲げており、グループ全体で緑化事業に取り組んでいる。
- ・本事業所においては、「緑に囲まれた事業所」というテーマのもと、最寄り駅から徒歩 10 分の市街化区域に立地しているながらも、外周部すべてに緑地を重点的に設け、周辺地域との緩衝帯として機能するように配慮している。
- ・事業所内には 10,000 m<sup>2</sup>を超える広大な庭園があり、ケヤキやクスノキ、サクラなどの高木が多く植栽され、その下層にはツツジ等の低木、地被には芝生と、立体的に緑の空間を演出している。
- ・屋内緑化にも力を入れており、最先端の技術と話題性を伴った室内緑化や屋上緑化などをお客さまをお迎えする施設に「おもてなしの空間」として取り入れているため、事業所内外で自然を感じられる造りとなっている。
- ・環境保全を経営の重要課題に位置づけ、生物多様性を育む社会づくりに貢献している。具体的には巣箱や餌台を設けたり、池の水面にはカルガモが営巣できるように浮島を設けたりしている。
- ・敷地内で発生した落葉でミミズファームを形成し、そこから発生したカブトムシの幼虫を近隣小学校に配付している。
- ・通勤路を中心としたごみ拾いを行う年 4 回のクリーンキャンペーンや、伊勢原市環境保全連絡協議会主催の河川クリーン作戦に参加し、美化清掃を行うなど、地域の美化活動に貢献しており、昨年は 24 年間継続してきたクリーンキャンペーンが道路愛護に顕著な活動をした団体に贈られる国土交通大臣表彰を受賞した。

## 緑地のようす



お客さまをお迎えする入り口



けやき並木のメインストリート



本社棟横の安らぎの小径



約 40 年前に作庭された屋上庭園



展示場エントランスの庭園アトリウム



プレゼンテーションルームの室内緑化

### 力を入れている取り組み

- ・伊勢原市環境保全連絡協議会主催の河川クリーン作戦への参加や、会社までの通勤路を中心としたごみ拾いを20年以上継続実施するなど地域の美化活動に積極的に参加している。
- ・庭園内にあるミズファーム（落ち葉集積スペース）で発生するカブトムシの幼虫を近隣の小学校に配布し、理科の授業に役立ててもらうなど環境学習を通じた交流や学習支援にも取り組んでいる。

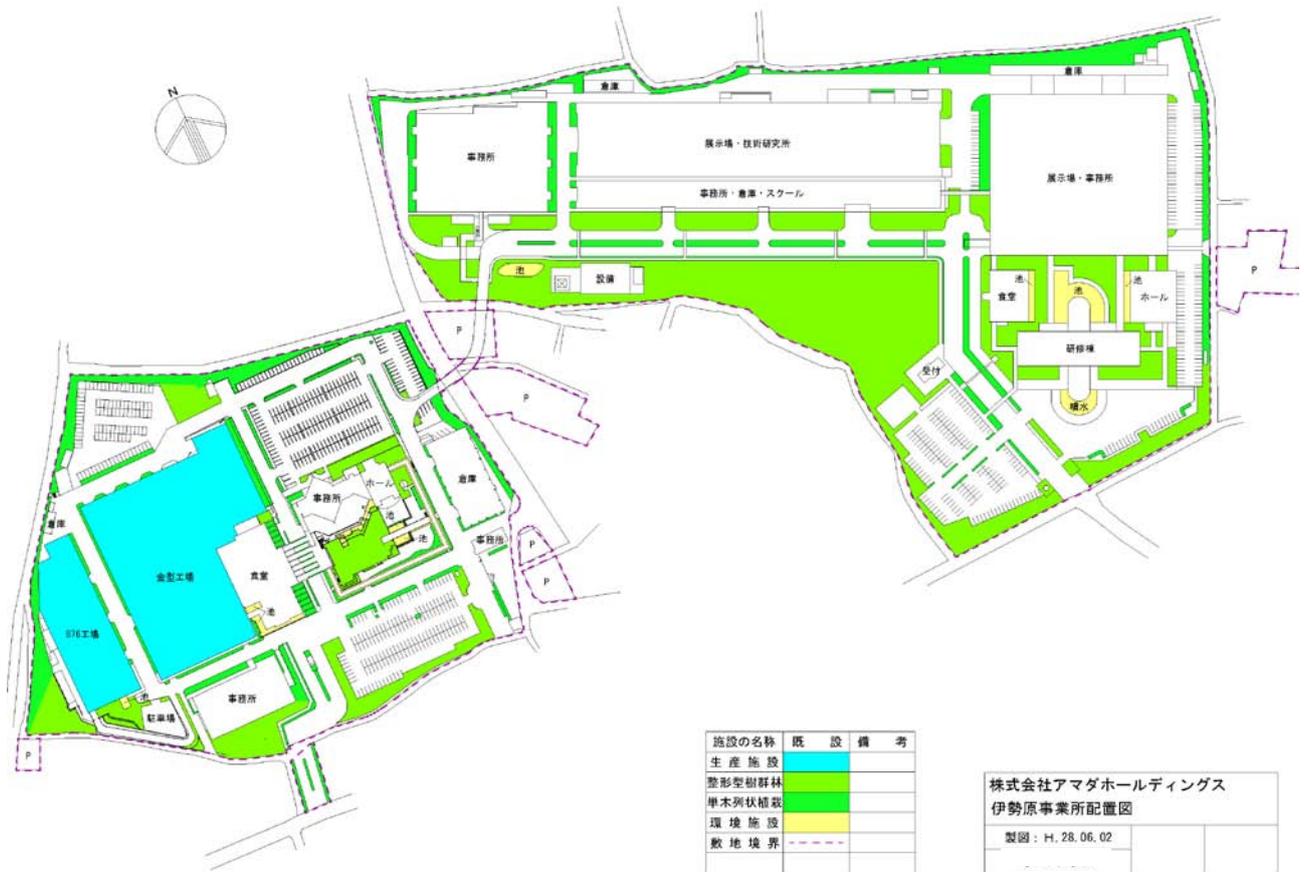


クリーンキャンペーン



ミズファームに発生したカブトムシの幼虫

## 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

伊勢原事業所では丹沢の麓にある立地条件から、エコロジカルネットワークの拠点として都市の中で取り組む工場緑化、そして生物多様性の質の向上に注力しています。

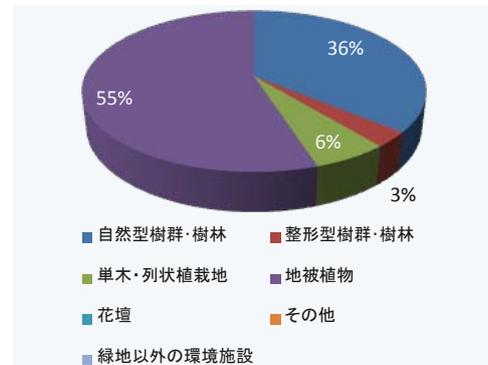
今後も地域社会への貢献、そしてつながりを大切にしながら、社会と自然がともに生きられる自然共生社会への貢献に努めてまいります。

# キヤノン株式会社 川崎事業所

工場所在地 〒212-8602  
神奈川県川崎市幸区柳町 70-1  
TEL : 044-920-2579

主たる業種名 電気機械器具製造業  
主要製品名 電気機器  
ウェブサイト <http://canon.jp/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 45,481m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

緑・生き物の棲む森づくりー「共創の森」

## 緑化等の概要

- ・キヤノン株式会社川崎事業所は川崎駅から徒歩 10 分という立地環境にあるにも関わらず、地域準則を大幅に上回るおよそ 4 万 5,000 m<sup>2</sup>（敷地面積に対して 40%）の広大な緑地を積極的に整備している。
- ・樹種の選定にあたっては周辺の緑との連続性・一体性を考慮し、川崎駅西口に数多く植栽されているシマトネリコを歩道に接する外周部に並木植栽しており、こうした点が高く評価され、平成 27 年度川崎市都市景観形成協力者として表彰されている。
- ・JR 南武線の線路沿いにはソメイヨシノを 39 本列植することで、乗客からの視界を華やかなものにしていく。さらに、高層棟正面の西洋芝は、年間 81 回の頻度で刈り込みを行うことで常に美しく管理されており、その芝に高さ 10m のヤマザクラをシンボルツリーとして設置することで、来客者だけでなく周囲の高層マンションからの視界も美しく彩る工夫がなされている。
- ・敷地外周部以外においても、研究棟の間の通路ではシマトネリコをモール状に整形植栽し、高層棟正面口ではシンメトリーに設置した常緑樹を夜間に LED 照明でライトアップするなど、様々な仕掛けにより、スタイリッシュに緑を魅せるとともに、以下の基本コンセプトをふまえ、グリーンファサードやグリーンモールなどを実現している。コンセプト：緑・生き物の棲む森づくり - 「共創の森」／地域や自然との共生を図る森づくり／積極的な高木の植栽による、地域のシンボル化やヒートアイランド対策／多様な樹種構成や近隣緑地との連続性の配慮による、緑のネットワークづくり
- ・地域のイベントや中学校の授業で環境への取組に関する出前授業等を行う等、地域に貢献している。

## 緑地のようす

- 地域や自然との共生を図る森づくり
- 積極的な高木の植栽による、地域のシンボル化やヒートアイランド対策
- 多様な樹種構成や近隣緑地との連続性の配慮による、緑のネットワークづくり
- コンセプト
  - ・ナチュラルフォレスト：多様性のある自然風の森づくり。外周部は外部からの景観を考慮した特徴ある並木植栽
  - ・グリーンバッファ：常緑樹の列植による緩衝緑地
  - ・アーバンフォレスト：整形植栽とランダム植栽を組み合わせた緩衝効果のある森
  - ・グリーンファサード：建物のファサードを演出する、防風を兼ねた並木植栽
  - ・グリーンモール：防風効果がある美しい並木植栽
  - ・シンボルツリー：地域のランドマークやアイストップとなる、大径木のシンボルツリー



ナチュラルフォレスト



グリーンバッファ



グリーンファサード

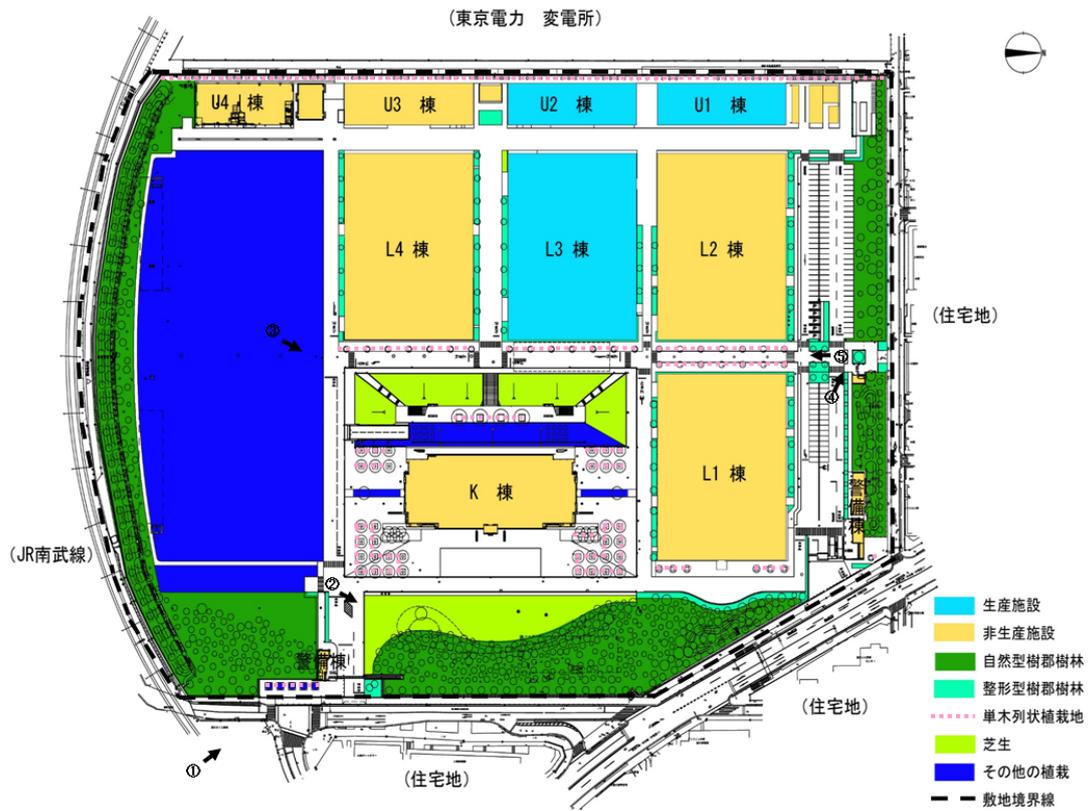


グリーンモール



シンボルツリー

敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

当社は、『共創の森』というコンセプトのもと、地域や自然との共生を図る森づくりをめざしています。積極的な高木の植栽による、地域のシンボル化やヒートアイランド対策や、多様な樹種構成や近隣緑地との連続性の配慮による、緑のネットワークづくりを図っています。

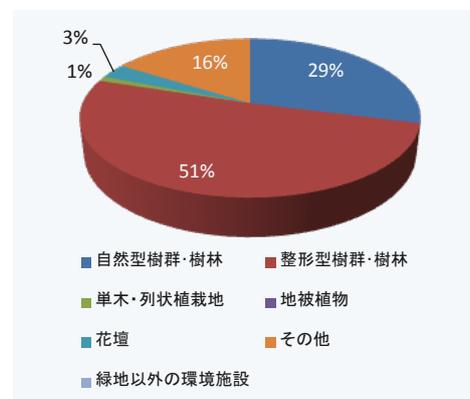
これらの活動は、都市部における事業所のイメージ改革にも寄与しているものと考えています。

# 株式会社アズミ村田製作所

工場所在地 〒399-8204  
長野県安曇野市豊科高家 1020  
TEL : 0263-72-2811

主たる業種名 電気機械器具製造業  
主要製品名 チップフェライトビーズ、チップコイル  
ウェブサイト <http://www.murata.co.jp/azumimurata/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 5,570m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

花と緑豊かな郊外の工場

## 緑化等の概要

- ・株式会社アズミ村田製作所は、工場及び周辺立地環境が配慮された総合的な緑化計画に基づいて、ゾーンごとにコンセプトを設けた多様な植栽により付加価値を持った特徴ある緑地を工場敷地内に設けるとともに、壁面緑化等にも取り組み、工場周辺地域との環境調和およびCO<sub>2</sub>の削減等、地域環境に貢献している。
- ・村田製作所グループの緑化方針に基づき、具体的な5か年中期計画を作成し、それぞれ特徴のある緑地造成と形成を行っている。
- ・村田製作所グループの製造工場として地元・地域の支援を受けながら、電子部品製造メーカーとして製品提供による社会貢献とともに地域へのご恩返しを企業の大切な責任と考えて、以下のような活動を行っている。
- ・緑化活動のひとつとして、安曇野市「アルプス花街道」事業に参加して、市内の市道脇にマリーゴールドを植栽しながら潤いのある地域づくりに、地元・地域の人達と一緒に活動を続けている。
- ・地域に根ざした「花と緑豊かな工場」を目指し、正面玄関前外周の生け垣を低く刈り込むことで、外周道路を往来する人や近隣住民の方に対して威圧感をなくし、外から緑地が見えるように配慮をしている。
- ・CO<sub>2</sub>削減対策のひとつとして「緑のカーテン」作りを毎年継続して実施している。また、アサガオと併せてフジ棚の「壁面緑化」にも取り組んでいる。
- ・CO<sub>2</sub>削減と「緑のある工場」を継続できるように、地被植物の植栽と維持管理を継続し、緑地面積を拡大している。
- ・長野県の県花である「りんどう」を緑地内の東屋正面に植えるなど、山国信州のイメージを出して、「地域性」を強調している。

## 緑地のようす



迎賓ゾーン



記念樹ゾーン



お花見ゾーン



低木と宿根草の花壇



リンドウ花壇



緑のカーテン

### 力を入れている取り組み

安曇野市の「アルプス花街道」に参加して市内の道路わきにマリーゴールドを植栽しながら、潤いのある地域づくりに地元地域の人達と一緒に活動をしている。

また、地元地域の環境維持整美活動にも積極的に参加している。



「アルプス花街道」への参加



ボランティアでの清掃活動



マリーゴールド植栽花壇

## 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

アズミ村田製作所は地域に根ざした工場であり続けることを念頭に、地域の方々や従業員に安らぎを与えられるような緑化環境を目指して活動をしています。

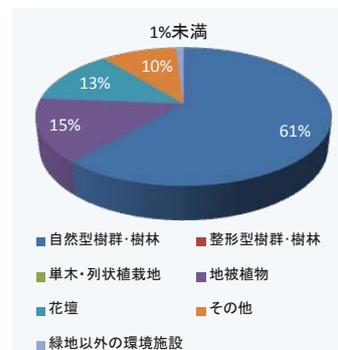
工場緑地の維持管理や地域社会と一体となった活動などいろいろと苦勞をすることが多いかと思われませんが、緑化担当者の皆様も継続的な活動をして行きましょう。

# タカノ株式会社 エクステリア工場

工場所在地 〒399-4117  
長野県駒ヶ根市赤穂 14-353  
TEL : 0265-81-1575

主たる業種名 非鉄金属製造業  
主要製品名 椅子、エクステリア商品  
ウェブサイト <https://www.takano-net.co.jp/portal/field/exterior/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 20,282m<sup>2</sup>



## 工場緑化のキャッチフレーズ

タカノ社員全員参加で創りあげる自然豊かな憩いの空間「ルビーの里」

## 緑化等の概要

- ・山林等の遊休地を整備し、社員だけでなく地域の皆さまにご利用いただける憩いの空間に活用しようと考え、2014年夏よりこのプロジェクトを開始した。
- ・公園は、芝生ゾーン・花壇ゾーン・森林ゾーンの3つに分かれている。花壇ゾーンでは高嶺ルビー（当社種苗登録している赤い花のそば）など季節の花を咲かせる。森林ゾーンでは「ヒノキ」の遊歩道を楽しむことができる。公園は年中24時間無料開放していて来園者も気楽に大勢の方に来ていただいている。
- ・2014年の造成当初は、工場全員で草刈り・樹木の伐採他整備を行った。
- ・2015年は徐々に形になるなか、春の植栽時社員有志150名で約5万ポットのシバザクラ、ビオラを植え、以降の管理は社員で協力しあって行った。
- ・夏場は芝生と斜面のシバザクラ・ヒメイワダレソウに毎日散水を行った。フェンス沿いには多くの種類のバラを植えており、鮮やかな色と香りを放っている。
- ・敷地西側の森林は、倒木、あるいは松くい虫被害木が多数あり、手入れされていない状況だったため、中央アルプスの眺望が楽しめる様に約1,000本の松を間伐した。その結果、東は南アルプス、西は中央アルプスと2つのアルプスの景観を楽しめるビューポイントとなった。
- ・間伐した松はチップにして遊歩道へ敷いて再利用した。また、遊歩道を楽しんでもらえるようにアジサイや山野草等も植えている。
- ・夜はイルミネーションやライトアップで楽しめるようにしている。イルミネーション作品のなかには、近隣高校の高校生とコラボして制作したものもある。

## 敷地平面図



## 緑地のようす



社員による遊歩道整備(2014年)



社員による植栽活動(2015年)

# ルビーの里オープン!

昨年から改革を進めてきたエクステリア工場に隣接する「ルビーの里」が7月にオープンしました!!これを記念し、ルビーの里の今までの改革の経緯や、敷地内を紹介します。当社の社員だけではなく、一般の方々にもご利用いただけますので、ぜひご家族、ご近所のみなさんとお越しください!

### ルビーの里

常設展示場 / 癒しの広場

**ルビーの里MAP**

- 西には中央アルプスが望めます
- ビューポイントにも休憩スペース
- 森の遊歩道
- スノーマンも飛んでいます
- さまざまなオーニングがならび展示場
- 子どもたちが遊ぶ砂場もありますよ!オーニングがあるので日陰で遊べます
- 800坪のひろーい芝生!
- 自販機・売店もあるのでご利用ください!
- オーニングがあるので日陰で休憩できるスペースも多くなります
- 水遊び場も順次完成予定です!
- 駐車場は芝生路、遊歩道順にそれぞれあります。階層の上り下りがなごいのは、芝生の礼儀(市道側)の専用駐車場をご利用ください!
- 乳牛の飼育場から花摘が出来ます

**ルビーの里とは**  
ルビーの里は、当社が地域の方々にゆっくり楽しんでいただくため、当社のことを知っていただくことや中央のオーニング・パワールを見て使って、商品の科学性を知っていただくために作った憩いの広場です。  
上の段の林の中には遊歩道があり、ゆっくり森林浴をさせていただくことができます。下の段には芝生の広場と季節ごとの花が見られる花畑があります。  
後の情報は、夏はタイトアップ、冬はイルミネーションと多彩な色彩が見られ季節を問わず楽しんでいただくことができます。

**◆アクセス**  
番地：伊：長野県駒ヶ根市赤穂14-353  
電話：0265-81-1575  
駒ヶ根ICより車で10分!

**◆ご案内**  
観覧無料・無料  
観覧時間：8:00～17:00  
※案内では表示のない資料目的の撮影はご遠慮ください。  
観覧の場合はエクステリア工場(0265-81-1525)へお問い合わせください。



咲き誇る赤そば(高嶺ルビー)



第1回 赤そば祭り(2016年6月)

## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

赤い花のそば：高嶺ルビー（弊社と信州大学共同種苗登録）を中心に、四季ごとに楽しんでいただける「ルビーの里」を目指しています。

2015年にオープンしたばかりで、多くの方に知っていただき来場し楽しんでいただける様、社員全員で改善・管理に取り組んでいます。

特にPRの機会として、高嶺ルビーの咲き誇る6月・10月にはイベントを行い、地域とお客様に楽しんでいただいています。

日々の管理は地道で大変ですが、憩いの広場となるよう引き続き取り組んでまいります。

年中開放していますので、是非ご来場ください。

# 株式会社アマダエンジニアリング 富士宮事業所

工場所在地 〒418-0112  
静岡県富士宮市北山 7020  
TEL : 0544-54-2111

主たる業種名 生産用機械器具製造業  
主要製品名 レーザマシン  
ウェブサイト <http://www.amadaholdings.co.jp/>

## 緑地等の種別面積割合

緑地等の総面積 473,065m<sup>2</sup>



## 工場緑化のキャッチフレーズ

緑に囲まれた工場、動植物の豊かな「アマダの森」

## 緑化等の概要

- ・ 標高 500mの富士山麓にある広大な敷地の約 6 割、13 万坪が森林である。この森を「アマダの森」とし、豊かな森の育成に取り組んでいる。
- ・ 事業所建設のテーマである「緑に囲まれた工場」に基づき、現況森林、特に天然林の伐採を極力抑え維持し、敷地境界の森林を確保して工場建屋の緩衝帯としている。
- ・ 平成 22～23 年に季節別 5 回の自然環境調査を行い、現存する動植物を把握し、森林の間伐・枝打ち・下草刈り等の維持管理作業の留意事項とし保護に努めている。
- ・ 人工林のスギ、ヒノキ林を計画的に間伐・枝打ちを行い、間伐材は市場に出し、残りの枝はチップにして事業所内の植栽の根元に敷きつめ、雑草対策・肥料とし有効活用している。
- ・ 進入道路周辺や事業所内の修景緑地には、静岡県や富士宮市の花木のツツジ、フジザクラ、カエデを多く植栽し、法面には芝・クマザサを植えている。
- ・ 夏季熱対策でゴーヤの緑のカーテンを実施し、収穫したゴーヤを社内食堂で食材に使用、使いきれない分は社員に配布している。
- ・ 地域への参加として、事業所進入路（公道）の日常管理はもとより、年 1 度各職場より従業員が参加して清掃活動を行っている。
- ・ 富士宮市主催の環境フェアに参加、事業所の環境対策をブース展示で紹介している。
- ・ 富士宮市が開催している施設見学や小学校の社会科見学の参加受け入れを積極的に行い、事業所に設置している環境教育エリア「環境道場」の見学を含め環境への取り組みを紹介している。

## 緑地のようす



初春の森と法面(サクラとツツジ・サツキ)



工場周囲のサクラ並木



法面の自然岩と植栽



アマダの森(間伐・枝打ち)、法面のコグマザサ

## 力を入れている取り組み

○「アマダの森」の整備を行い、動植物の豊かな森に再生させる

- ・間伐、枝打ち不要材はチップにして再利用
- ・自然環境調査を実施して動植物の把握、希少種の保護

○修景緑地には、静岡県や富士宮市の花木 ツツジ、フジザクラ、カエデを多く植栽している

○従業員による事業所外周の清掃活動や朝霧高原にある田貫湖を従業員とその家族がウォーキングしながら清掃活動を実施している



森の間伐の枝をチップにして再利用



緑に囲まれた渡り鳥の休息池(敷地内調整池)



事業所周围の公道清掃と不法投棄物処分



従業員・家族で田貫湖清掃

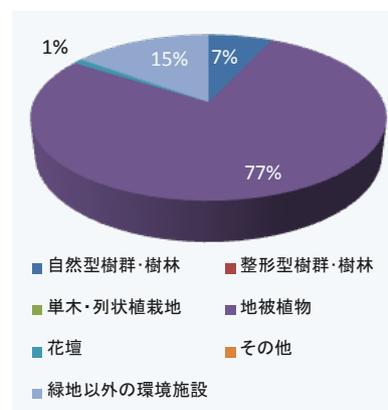


# ライオンケミカル株式会社 オレオケミカル事業所

工場所在地 〒762-0064  
香川県坂出市番の州町 22-1  
TEL : 0877-44-1811

主たる業種名 化学工業  
主要製品名 キレイキレイ薬用泡ハンドソープ

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 47,813m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

瀬戸内海の自然と調和した工場

## 緑化等の概要

- ・ライオンケミカル株式会社 オレオケミカル事業所は、日本を代表する自然の景勝地である瀬戸内海国立公園内に位置し、来訪者を日本庭園の緑や四季折々の花で迎えるよう工夫が施されている緑豊かな工場である。
- ・綾川流域の自然の恵みを受けて製品づくりを行っていることから、積極的な生物多様性保全活動として、豊かな水辺生態系の復元を目的としたビオトープを整備している。
- ・ビオトープは、工業地帯特有の厳しい制約がある中、従業員が手作りで造成したものであるが、香川県指定の絶滅危惧種である「マイコアカネ」の誘致に成功している。
- ・このような難易度の高い希少種保護活動に加えて、従業員が講師となりトンボ池を活用した体験型学習や小学校との総合的な学習も推進し、未来を担う子どもたちへの環境教育にも熱心である。
- ・環境月間には近隣の幼稚園、小学校を招いて自然観察会を行うほか、「マイコアカネ」の出現に併せて希少種の観察会も行い、環境学習を通して情操教育にも努めている。
- ・現在、このような活動が行えるのは、希少種保護活動においては、香川県みどり保全課のアドバイスをいただいたこと、ビオトープ（トンボ池）造成では専門家の知見をいただきながら進めたことが成功の要因であるため、今後も香川県や専門家との連携を密にして希少種保護活動を進めていくとともに、地域に根ざした環境活動を行っていく。

## 緑地のようす



## 力を入れている取り組み

～希少種保護活動と環境学習への取り組み～

- ・生物多様性保全活動の一つとして事業所内に手作りでトンボを誘致する池を造成し、香川県絶滅危惧Ⅱ類指定のマイコアカネの保護活動を行っている。マイコアカネが生息できる場所として湿地帯の造成、トンボ池の水質改善・良化を目的に太陽光を利用した水の循環システムを導入し、4科23種のトンボを誘致することができた。
- ・環境月間には幼稚園の子どもたちをトンボ池に招いて自然観察会の開催の他、小学校と協働して環境総合学習を行っている。このような活動は市教育委員会からも子どもたちの豊かな感情を育む情操教育になると好評をいただいている。



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

当社は「愛の精神の実践を経営の基本とし、人々の幸福と生活の向上に寄与する」を社是としています。

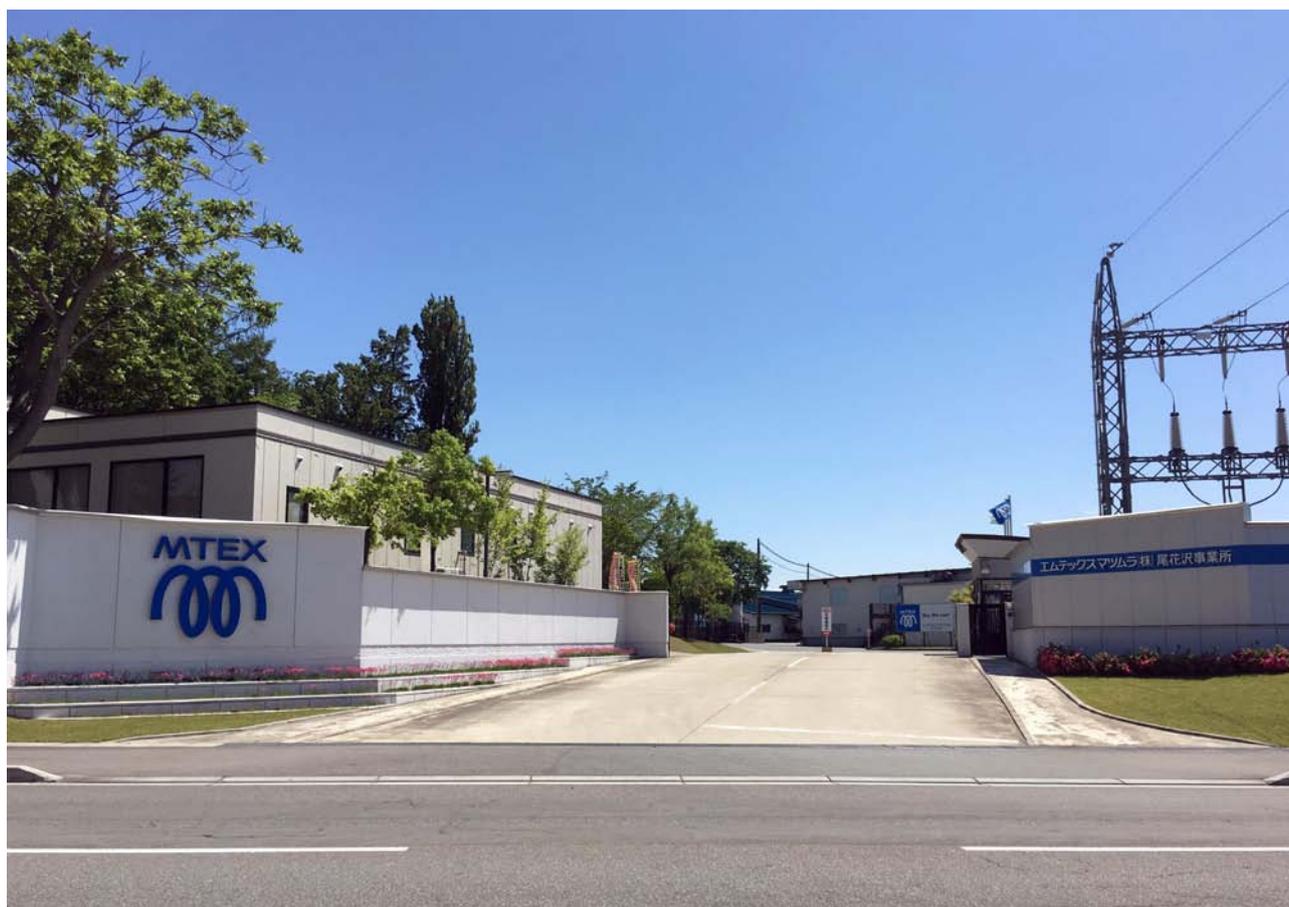
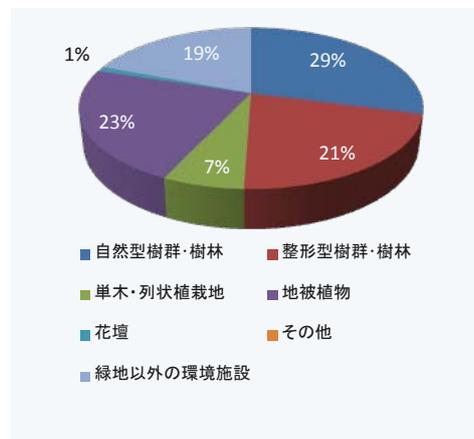
工場緑化もそれに習い単に緑地を整備するだけでなく、緑地環境を活かした希少種の保護活動ならびに、近隣の幼稚園、小学校への環境総合学習も行っています。今後もこの活動を継続すると共に、未来を担う子どもたちへ自然の素晴らしさや大切さを学んでいただけるように全従業員が力を合わせて取り組んでまいります。

# エムテックスマツムラ株式会社 尾花沢事業所

工場所在地 〒999-4231  
山形県尾花沢市北町 2-2-2  
TEL : 0237-22-1151

主たる業種名 製造業  
主要製品名 電子デバイス製造  
ウェブサイト <http://www.mtex.co.jp/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 7,689m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

自然と環境にやさしいものづくり工場

## 緑化等の概要

- 昭和 63 年の研修施設の新築以降、緑地空間の整備に着手。構内には市の花であるレンゲツツジのほか、サクラ、アカマツ、ポプラ、モミジ等の四季を彩る植樹、植栽を施しており、常時 2 名の構内整備員が管理を行っている。
- 立地する地域は、冬季の月間累積降雪量が 2m を超える豪雪地域であり、例年、雪の景観を配慮しながら、樹木等の保護及び雪害対策として、雪吊り、雪囲いを実施している。
- 平成 17 年に ISO14001 認証取得後、2 年後にゼロ・エミッション達成、同年、夏のエコスタイルチャレンジ優良事業所表彰（山形県地球温暖化防止活動推進センター）、平成 21 年度東北地区省エネルギー月間表彰“東北経済局長賞”、平成 22 年度山形県環境保全推進賞を受賞、平成 26 年にエコアクション 21 認証取得と、環境への取組を継続している。
- 社内に環境委員会を設置し、以下の取組を行うなど、社員の環境に対する意識も高い。
  - ・地域貢献活動の取り組み（近隣美化運動の実施）
  - ・資源の有効活用の取り組み（水使用量の削減）

## 緑地のようす



## 力を入れている取り組み



工場敷地周辺での近隣美化運動を行っている



冬季間の枝折れ等の雪害対策を構内整備員を中心に行っている



毎年、尾花沢市で開催される尾花沢雪まつりに雪灯籠や雪像を製作し参加している



## 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

全国でも有数の豪雪地帯でありながら、自然に恵まれ豊かな水と大地に囲まれた場所に当事業所があります。過去～現在～未来へつながる緑化推進に事業所全体で取り組んでまいります。

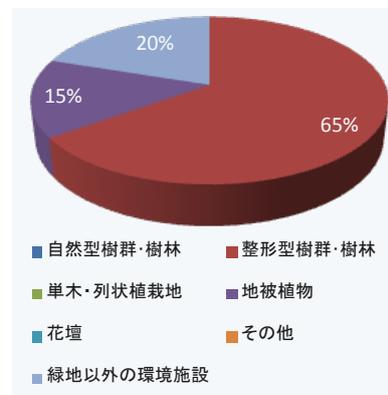
# 前澤化成工業株式会社 熊谷第二工場

工場所在地 〒360-0238  
埼玉県熊谷市妻沼西 1-1-1  
TEL : 048-567-1331

主たる業種名 上・下水道関連製品製造業  
主要製品名 水道用硬質塩化ビニル製継手  
ウェブサイト <http://www.maezawa-k.co.jp/>

## 緑地等の種別面積割合

緑地等の総面積 19,901m<sup>2</sup>



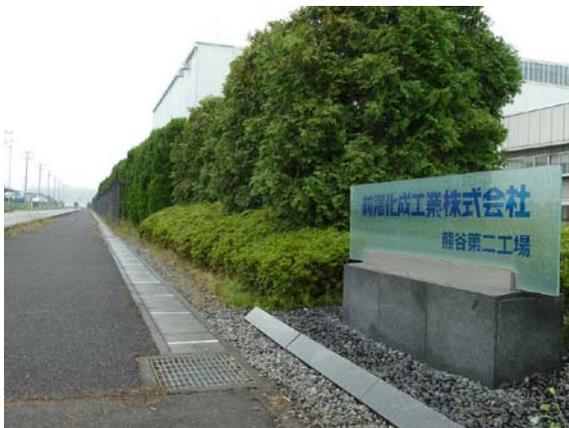
## 工場緑化のキャッチフレーズ

「自然を愛し、人を大切にし、環境にやさしいものづくり。」

## 緑化等の概要

- ・前澤化成工業株式会社熊谷第二工場は「自然を愛し、人を大切にし、環境にやさしいものづくり。」をコンセプトとし、製造工程での切り屑や端材の発生抑制やリサイクルを徹底し工場外への廃棄物を大幅に削減している。
- ・本工場は埼玉県北部の熊谷市にある妻沼西部工業団地に位置しており、周辺は県内でも有数の緑溢れる田園地帯である。
- ・周辺の緑と工場が融合するように、外周には常緑樹のカイツカイブキ約 1,000 本、シラカシやキンモクセイなど高木約 700 本、サツキ、ツツジ、アジサイなどの低木約 6,000 本などを植栽している。
- ・工場敷地の一部を「マエザワ緑の広場」(約 11,450 m<sup>2</sup>)として開放しており、小鳥のさえずりが心地よく聞こえる中で朝の散歩やジョギングの一休みに誰でも利用できる。また、公園内には運動広場が設置しており、球技などグループでの使用もできる。
- ・創立 50 周年を記念して、広場の周囲には地元「熊谷市の花」になっているサクラを 50 本植樹しており、「ソメイヨシノ」「ヤエザクラ(普賢象、松月)」「三春の滝桜」の順に開花して、4月下旬まで美しい姿を見せてくれる。ようやくこのサクラも大きくなり、今年は初めてOBを招いての「桜の会」を開催した(現在 53 本)。
- ・環境整備活動として草取りとゴミ拾いは毎月欠かさず実施し、工場内外の環境美化に努めている。
- ・エコや省エネに配慮した安心できる暮らしが一層求められるようになってきている中、当社ではこうした社会そしてお客様のニーズを的確に捉え、皆様に、より快適な住環境を提供できる企業であることを目指している。

## 緑地のようす

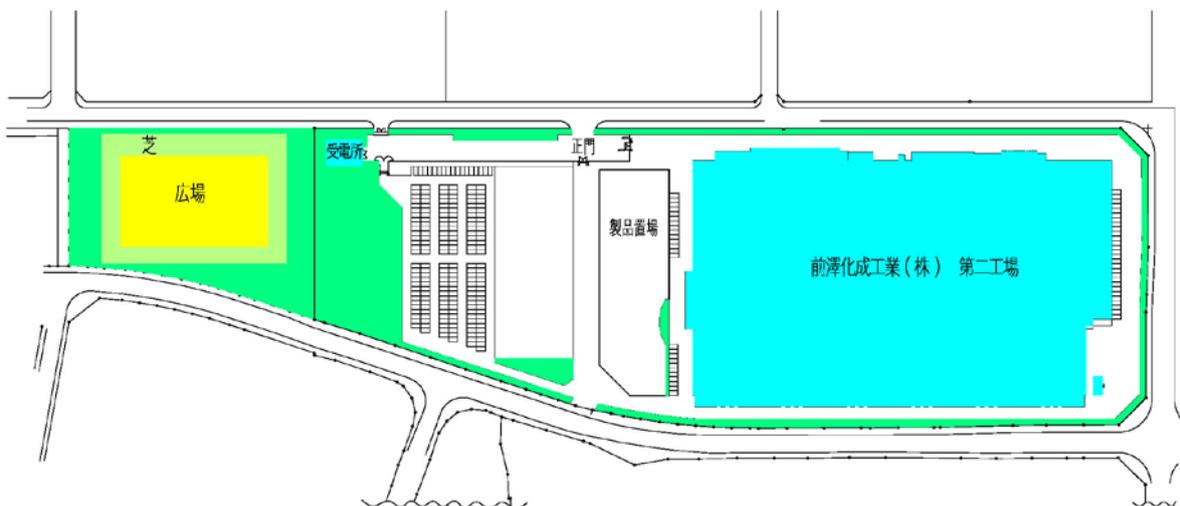




### 力を入れている取り組み

- ・「マエザワ緑の広場」は春になると見事なサクラ並木を造りだし、地域の方々の憩いの場として利用されたり、通行車両のドライバーの方々にも一時の癒やしを提供している。このような緑の環境を綺麗に保つため、私たちは環境整備活動の一環として工場敷地内外の除草やゴミ拾いを毎月行って工場緑地の維持・向上に努めている。
- ・また、皆様の暮らしを豊かにする「住環境改善製品」や省エネルギー化を実現した「排水処理システム」など、環境に優しい製品づくりに力を入れている。

### 敷地平面図



### 全国の工場緑化担当者の皆様へ

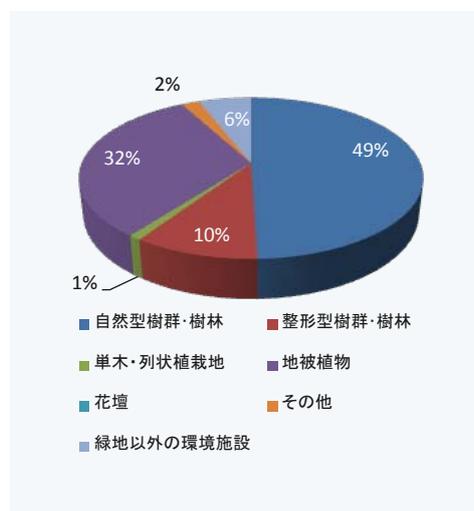
当社は、一人ひとりが省エネルギーやリサイクルに努め、環境問題に積極的に取り組んで環境にやさしいものづくりを徹底追求しています。製品の生産を通じて社会に貢献していくことはもとより、「マエザワ緑の広場」に咲き誇るサクラやアジサイ、ツツジなどの花や緑を楽しんで頂ける環境を整備することで地域の皆様のお役に立てると思っています。

# 株式会社不二家 富士裾野工場

工場所在地 〒410-1231  
静岡県裾野市須山 1220-19  
TEL : 055-998-1800

主たる業種名 食品製造業  
主要製品名 ミルキー、ホームパイ  
ウェブサイト <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 28,025m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

地球環境にやさしい企業活動

## 緑化等の概要

- 株式会社不二家富士裾野工場は、富士山を望む森の中の団地「富士裾野工業団地」に立地しており、工場操業開始以降、年間を通して樹木や芝生の手入れを行い、操業開始時に 28%だった緑地率は、現在 38%に増えている。
- 緑地等の総面積の約半分が自然型樹群・樹林である。敷地を取り囲むように、地域の自然植生に合わせた高木が配置されている。これが、団地内の他の工場との調和を保ちながら、富士山麓の豊かな自然環境に溶け込む樹林に囲まれた工場を演出している。
- 工場敷地内では、企業ロゴの「F（ファミリー）マーク」や、多くの人々に親しまれる商品名をかたどった色鮮やかなツツジが、訪れる人の目を楽しませている。
- 従業員の駐車場には小規模なビオトープが整備され、駐車場から工場棟に渡る際にはこのビオトープにかかる小さな橋を渡るよう工夫され、従業員や来訪者の心を和ませている。
- 敷地内の通路には、サクラやウメなどの花木を配置しており、平成 13 年に行われた植樹祭では、100 本以上のサクラを植樹し、大切に育てている。
- 裾野市の河川保全団体主催の清掃活動、アマゴの放流活動、親子水生生物調査などに継続的に参加するなど、地域社会との交流を図りながら積極的に環境保全活動に取り組んでいる。
- ISO14001 を取得し、環境基本方針に緑化や環境美化活動、環境保全への活動を位置づけている。また、本工場が積極的に取り組む地域の人々との交流を通じた環境保全活動は、工場周辺のみならず、富士山麓の貴重な自然環境の保護につながることを期待できる。

## 緑地のようす



ツツジと工場

従業員駐車場へ向かう道にはツツジを植栽している



サクラとツツジのホームパイ

春にはサクラが花開く。ツツジで「ホームパイ」の文字を作った



ツツジのFマーク

ツツジで当社のロゴ「Fマーク」を作成



井戸の神様を祀る「不二水神社」

ミルクやホームパイの原料仕込水には、この井戸から汲み上げた富士山の天然水を使用している



工場外周から見た緑地



工場からは雄大な富士山が見える

### 力を入れている取り組み



ビオトープ

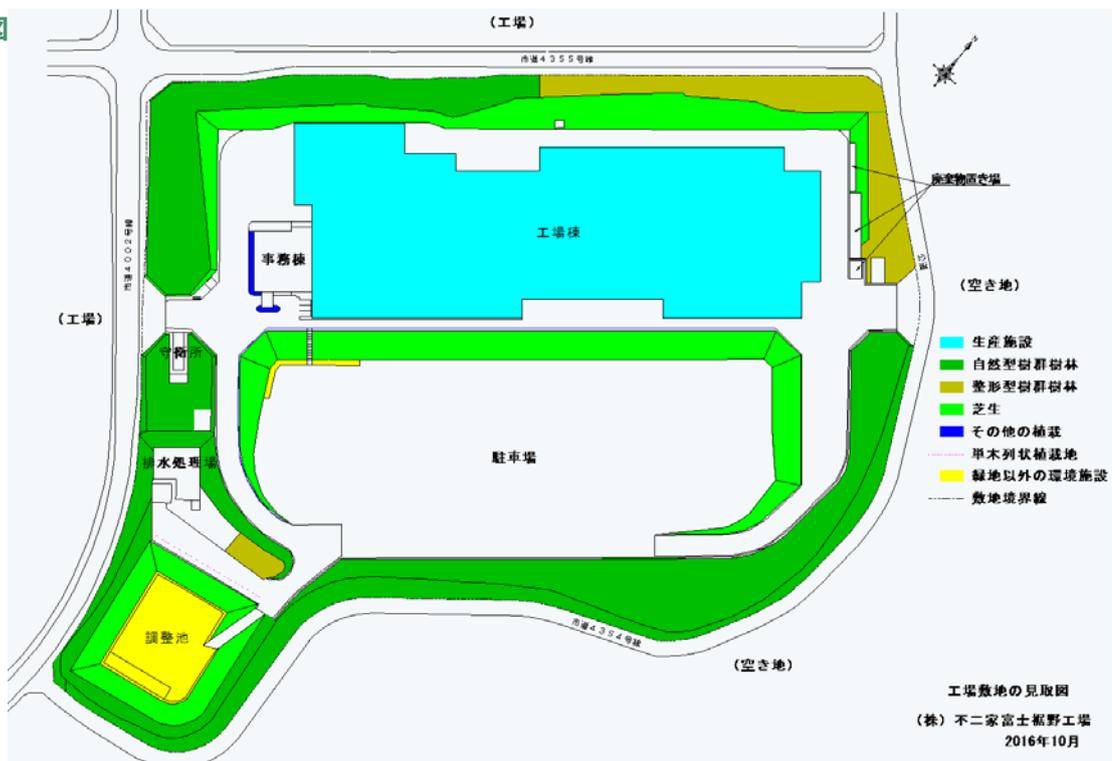
鯉が泳ぐ池を維持している



工場外周清掃

工場外周のゴミ拾いを季節ごとに実施し、従業員が参加している

### 敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

「地球環境にやさしい事業活動」を基本理念に、当工場では環境保全活動を推進しています。恵み豊かな富士山系の地下水を汲みあげて、菓子生地 of 仕込水として使用していることから「水」を大切に工場運営をしています。

敷地内のビオトープでは鯉やメダカが、清らかな水の流れの中で草・木と共生をしています。

お客様や従業員に好評なのは、ツツジで植栽した「ミルクィー」や「ホームパイ」の文字や当社のシンボルである「Fマーク」です。

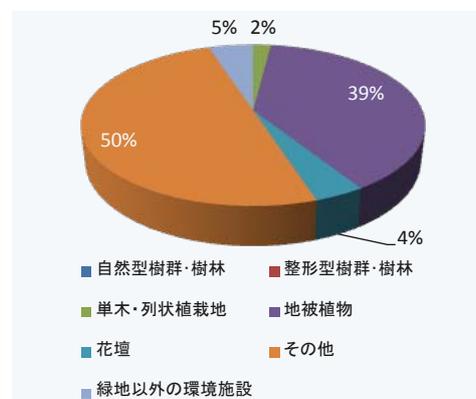
今後も緑地の維持管理を継続して行い、従業員の環境保全に関する意識向上を図ってまいります。

# 富士鍛工株式会社 室戸工場

工場所在地 〒781-6741  
高知県室戸市羽根町甲 1384-1  
TEL : 0887-24-6022

主たる業種名 その他の製造業  
主要製品名 ローリング鍛造品  
ウェブサイト [http://issgrp.co.jp/s03\\_expert/s\\_02.html](http://issgrp.co.jp/s03_expert/s_02.html)

緑地等の種別面積割合  
緑地等の総面積 8,369m<sup>2</sup>



工場緑化のキャッチフレーズ

自然の懐にいだかれた花いっぱいの工場作り

## 緑化等の概要

- 南海トラフ地震が想定されるため、津波対策として海拔 15m から海拔 36m の場所へ工場移転した。移転に伴い工場周辺の緑化、四季折々の花々、ホタルが見られる環境作りをしている。
- 公道に面した広い法面を利用し、約 3,000 m<sup>2</sup>、7 万 2,000 株のシバザクラを全面に植えており、周辺住民からの評判もよい。
- このシバザクラの苗木の一部は障害者支援施設を通じて作ってもらっている。
- 工場近くのため池の底の土壌を汲出し、腐葉土としてシバザクラ、花壇、工場周辺の土壌へ使用している。
- 敷地内の緑化だけでなく、工場周辺の休耕田や収穫後の田畑に、コスモスを 2ha、レンゲを 1ha 植える取組を、地域住民の方々と協力して行っている。
- 春にはシバザクラ、レンゲ、ハナモモ、アジサイ、ショウブ、夏はヒマワリ、トウモロコシ、秋はコスモスと、1 年を通じて工場周辺に花々を咲かせ緑化に取り組んでいる。
- できるだけ除草剤は使用せず、手作業で除草をするよう心がけている。

## 緑地のようす・力を入れている取り組み



シバザクラの植樹風景

地元の方々と7万2千株の植樹を行った。全国各地からシバザクラを取り寄せた。



レンゲ



ヒマワリ



トウモロコシ



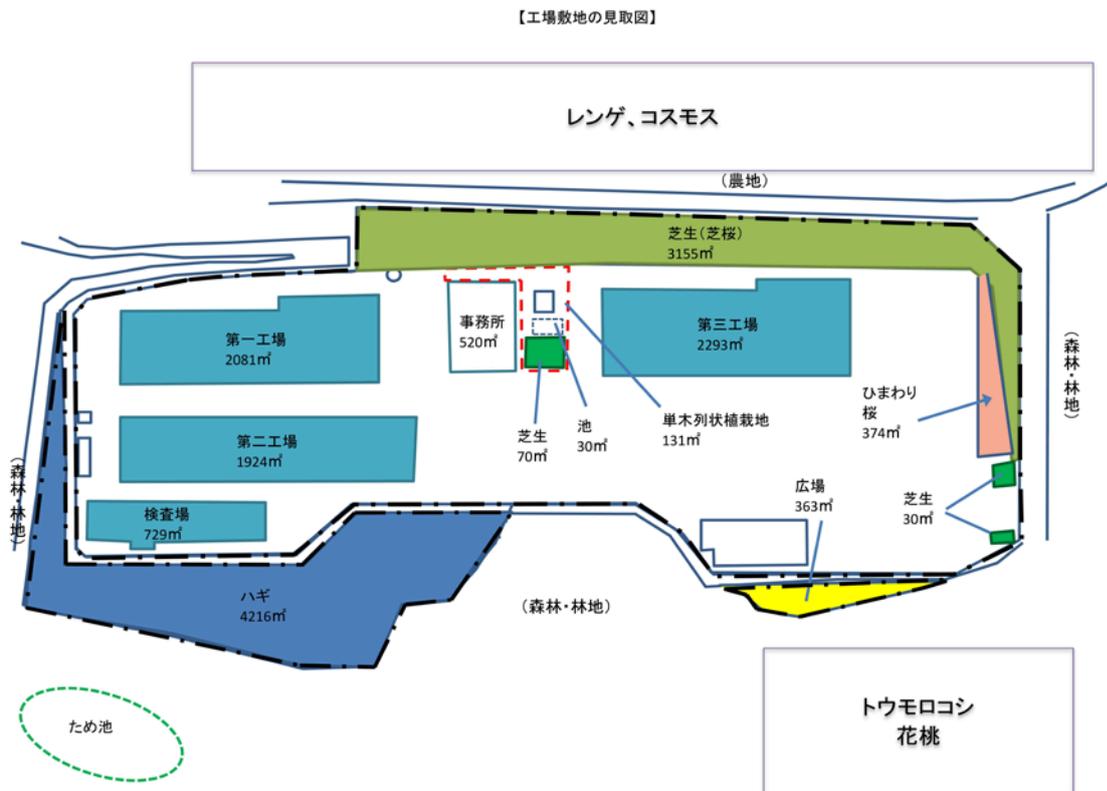
コスモス

・緑化に当たって苦労していること

シバサクラ、コスモス、ハナモモ、トウモロコシ、ショウブの芽や幹をウサギ、シカに食べられたり、サルにはトウモロコシを食べられたりした。

また、野生動物だけでなく草、害虫、病気にかかってしまったり色々なことが発生している。

敷地平面図



## 全国の工場緑化担当者の皆様へ

当社は、全国でも過疎化の進んでいる高知県の室戸市に工場があります。

その工場が、千年に一度くるかもしれない南海トラフ地震により水没するかもしれないと言われました。そこで高台への移転を検討しました。移転地としては地元の雇用を失わない為にも室戸市内での高台移転を致しました。工場を海拔 15m の場所から 36m の場所へ移しました。

工場周囲の住民の方々とは季節ごとに食事会を工場で開き交流しております。また、工場を周辺地域の異常気象時の一次避難場所として契約を結んでいます。工場近くの羽根川河川組合とは川の保全のため協力する契約をしております。

工場の内外を問わず四季折々の花々が咲くように緑化に取り組んでいます。春には、シバサクラ、レンゲ、ハナモモ、夏にはアジサイ、ショウブ、ヒマワリ、トウモロコシ、秋にはコスモスが咲くよう緑化に取り組んでいます。

工場近くの谷には淡水魚、蛍の食べ物であるカワニナも生息しています。

また、地元の山林を利用するため、50×50×22m のトラス工法による日本一の木のドームを作っています。180～280φまで約 4,000 本の地元のヒノキを使いました。